

令和4年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3	年次	2
使用教科書	高等学校改訂版 標準現代文B (第一学習社)						
副教材等	巻頭増補版 常用国語便覧(浜島書店) 【新編】級別漢字セミナー(浜島書店)						

1 担当者からのメッセージ

- ・ 実生活に必要なのは、初見の文章を自分の力で読んでいく力です。
- ・ 文章の要旨とともに、何のためにその文章を書いたのかまで考えられるようになりましょう。
- ・ 読解によって得た経験や知識を、自分の文章として表現してみましょう。
- ・ 授業の後には内容を振り返り、確認できるようにしましょう。
- ・ 提出物の期限は守り、定期考査には学習計画を立てて臨みましょう。

2 学習の到達目標

- ・ 自力で文章読解をし、内容を判断し、客観的に理解することができる。
- ・ 目的や場に応じた的確に、文章の内容や構成または登場人物の心情を理解することができる。
- ・ 読み取った内容を適切に表現し、的確に伝えることができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析(ワークシート、原稿用紙) 定期考査	記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、語句の意味調べプリント等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	B	C	d	e		
1学期	評論	教材: 『『私』という『自分』』 「わたしはあなた だったかもしれない」 ワークシート	○		○	◎	○	a: 今まで気づかなかった概念、ものの見方に触れ、新しい世界観を身につける。 c: 文章の内容の要約。また、文章に対する自分の考えを文章化する。 d: 評論文の論理の展開や要旨を的確に読み取る。 e: 抽象語、抽象概念を組み立てた理論の読解力を高める。	a: 授業の取り組み姿勢 c: 記述課題 d: 定期考査 e: 小テスト
	小説	教材: 「デューク」 「鼻」 ワークシート	○	○		◎	○	a: 明治期の作品を読み、現代に通じるものの見方を知る。 b: 作品を読んで、登場人物の行動について各自が解釈、評価しそれを説明する。 d: 人間の我執をこれほどまでに精緻に叙述した、その表現を読み取る。 e: 語句の理解。テーマの理解。	a: 授業の取り組み姿勢 b: グループワーク、レポート d: 記述課題及び定期考査 e: 小テスト
2学期	評論	教材: 「新しい地球観」 「コミュニケーションの文化」 ワークシート	○		○	◎	○	a: 今まで気づかなかった概念、ものの見方に触れ、新しい世界観を身につける。 c: 文章の内容の要約。また、文章に対する自分の考えを文章化する。 d: 評論文の論理の展開や要旨を的確に読み取る。 e: 抽象語、抽象概念を組み立てた理論の読解力を高める。	a: 授業の取り組み姿勢 c: 記述課題 d: 定期考査 e: 小テスト
	小説	教材: 「山月記」 ワークシート	○			◎	○	a: 漢文調文体の独特な効果を味わう。 d: 登場人物の心情推移を的確に読み取る。 e: 作者がこの作品を著した意図について考える。	a: 授業の取り組み姿勢 d: 記述課題及び定期考査 e: 小テスト
2学期	詩	教材: 「そこにひとつの席が」	○	◎		○	○	a: 詩作品が伝えたい事、そのための表現法の選択を意識した読みをする。 b: 上記 a を踏まえた朗読を考える。	a: 授業の取り組み姿勢 b: 音読実践

								d: 修辞表現を中心に章句が意味することを正確に読む。 e: 詩作品独特の表現手法を身につける。	d: 記述課題及び定期考査 e: 小テスト
3 学期	小説	教材: 「ナイン」	○			◎	○	a: 徐々に事実が明かされていく小説の手法を意識化しながら読む。 d: 登場人物の心情推移を的確に読み取る。 e: 作者がこの作品を著した意図について考える。	a: 授業の取り組み姿勢 d: 記述課題及び定期考査 e: 小テスト 語句プリント
	実用の文章	教材 「注連縄 つつましく 貧しく清楚な形」 「東京タワー 揺れる 天空で決死の塗装」	○			◎	○	a: 今まで気づかなかった概念、ものの見方に触れ、新しい世界観を身につける。 c: 文章の内容の要約。また、文章に対する自分の考えを文章化する。 d: 評論文の論理の展開や要旨を的確に読み取る。 e: 抽象語、抽象概念を組み立てた理論の読解力を高める。	a: 授業の取り組み姿勢 c: 要約課題 d: 記述課題及び定期考査 e: 小テスト、 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力
d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。